

2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月3日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	68,806		12,339	538.6	12,742	482.6	5,349	362.7
2021年3月期第1四半期	65,378	2.9	1,932	45.5	2,187	44.1	1,156	41.3

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 13,237百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 3百万円 (99.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	27.06	
2021年3月期第1四半期	5.85	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る売上高につきましては、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、その他の連結経営成績につきましては、「収益認識に関する会計基準」等を適用することによる影響は軽微です。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	322,180	197,987	49.8
2021年3月期	306,918	191,535	51.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 160,418百万円 2021年3月期 156,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				21.00	21.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期における1株当たりの配当予想については、22円から24円に修正しております。詳細については、本日(2021年8月3日)公表いたしました「連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000		18,100	213.0	18,200	206.4	7,800	182.4	39.45
通期	275,000		28,600	32.4	29,000	32.2	13,400	26.7	67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高につきましては対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、その他の連結業績予想につきましては、「収益認識に関する会計基準」等を適用することによる影響は軽微です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	199,699,743 株	2021年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,995,490 株	2021年3月期	1,995,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	197,704,261 株	2021年3月期1Q	197,704,620 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

収益認識に関する会計基準等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前第1四半期連結累計期間の売上高と異なる基準で計上されており、影響の大きい連結及び宝酒造セグメントの売上高、売上総利益および販売費及び一般管理費については前年同期比を記載せず説明しております。なお、営業利益以下に与える影響は軽微であります。収益認識に関する会計基準等適用による影響につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」に記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、タカラバイオグループの好調に牽引され、売上高68,806百万円、売上総利益28,335百万円、販売費及び一般管理費15,995百万円、営業利益12,339百万円（前年同期比638.6%）、経常利益12,742百万円（前年同期比582.6%）となり、収益認識に関する会計基準等の影響を吸収し増収、増益となりました。また、製品自主回収関連損失1,576百万円を特別損失に計上いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益も5,349百万円（前年同期比462.7%）と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、収益認識に関する会計基準等の適用による影響を除くと、甲類焼酎が好調で焼酎は増加しましたが、原料用アルコール等や製品自主回収の影響のあったソフトアルコール飲料が減少いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、収益認識に関する会計基準等適用の影響△7,370百万円も含め29,794百万円となりました。売上原価は、22,203百万円となり、売上総利益は、7,590百万円となりました。販売費及び一般管理費は、同じく収益認識に関する会計基準等適用の影響△7,209百万円に加えコストカットに努めたため6,112百万円となり、営業利益は、1,478百万円（前年同期比202.1%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、英国、米国でウイスキーが引き続き増加したこと、前期コロナ禍の影響を受け減少した清酒の売上が増加したことなどにより、海外酒類事業の売上高は3,299百万円（前年同期比134.2%）となりました。海外日本食材卸事業では、欧州においてデリバリーやテイクアウトへの対応商品の売上が増加したことなどにより18,064百万円（前年同期比110.0%）となりました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、21,068百万円（前年同期比113.2%）となりました。売上原価は、14,333百万円（前年同期比108.3%）となり、売上総利益は、6,735百万円（前年同期比125.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、4,995百万円（前年同期比95.2%）となり、営業利益は、1,740百万円（前年同期比1306.8%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が前年同期比で減少したものの、試薬、機器および受託が前年同期比で増加いたしました。試薬および機器では新型コロナウイルスのPCR検査関連製品が増加の一因となりました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、15,272百万円（前年同期比220.1%）となりました。売上原価は、売上構成の変化や生産稼働率の向上等により原価率が低下し2,133百万円（前年同期比95.5%）となり、売上総利益は、13,138百万円（前年同期比279.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費等が増加し、4,633百万円（前年同期比115.6%）となり、営業利益は、8,504百万円（前年同期比1225.5%）となりました。

[その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,578百万円（前年同期比110.5%）となりました。売上原価は、6,499百万円（前年同期比107.7%）となり、売上総利益は、1,078百万円（前年同期比130.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、453百万円（前年同期比96.0%）となり、営業利益は624百万円（前年同期比177.4%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	12,445	10,654	85.6
清酒	3,507	2,500	71.3
ソフトアルコール飲料	11,886	9,109	76.6
その他酒類	1,352	1,319	97.6
本みりん	3,127	2,131	68.1
その他調味料	2,461	2,053	83.4
原料用アルコール等	2,821	2,025	71.8
計	37,601	29,794	79.2
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,458	3,299	134.2
海外日本食材卸	16,427	18,064	110.0
その他	28	16	57.6
グループ内連結消去	△297	△310	—
計	18,616	21,068	113.2
タカラバイオグループ			
試薬	5,515	12,873	233.4
機器	166	390	234.9
受託	1,137	1,955	171.9
遺伝子医療	119	53	44.7
計	6,938	15,272	220.1
報告セグメント計	63,156	66,134	104.7
その他	6,858	7,578	110.5
セグメント計	70,014	73,712	105.3
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△4,635	△4,906	—
合計	65,378	68,806	105.2

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 当第1四半期連結累計期間よりタカラバイオグループの品種名称を「研究用試薬」、「理化学機器」、「受託サービス」から「試薬」、「機器」、「受託」にそれぞれ変更しております。

(参考) 【収益認識基準適用前】 品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	12,445	13,266	106.6
清酒	3,507	3,251	92.7
ソフトアルコール飲料	11,886	11,321	95.3
その他酒類	1,352	1,504	111.2
本みりん	3,127	3,207	102.5
その他調味料	2,461	2,584	105.0
原料用アルコール等	2,821	2,028	71.9
計	37,601	37,164	98.8
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,458	3,304	134.4
海外日本食材卸	16,427	18,064	110.0
その他	28	16	57.6
グループ内連結消去	△297	△310	—
計	18,616	21,073	113.2
タカラバイオグループ			
試薬	5,515	12,873	233.4
機器	166	390	234.9
受託	1,137	1,955	171.9
遺伝子医療	119	53	44.7
計	6,938	15,272	220.1
報告セグメント計	63,156	73,509	116.4
その他	6,858	7,578	110.5
セグメント計	70,014	81,088	115.8
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△4,635	△4,906	—
合計	65,378	76,181	116.5

(注) 比較の便宜のため、当第1四半期連結累計期間の売上高は収益認識に関する会計基準等を適用しなかった場合の金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は194,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,684百万円増加いたしました。受取手形及び売掛金が4,323百万円、現金及び預金が3,143百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は127,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,578百万円増加いたしました。これは主にTakara Bio USA, Inc.の新事業所用建物の内装工事およびタカラバイオ株式会社の製造設備取得等により有形固定資産が3,378百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、322,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,262百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は76,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,913百万円増加いたしました。流動負債のその他が収益認識に関する会計基準等適用に伴う返金負債5,709百万円などにより10,558百万円増加し、1年内償還予定の社債が10,000百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は社債の流動への振替などにより前連結会計年度末に比べ11,103百万円減少し、48,010百万円となりました。

この結果、負債合計は、124,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,810百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は197,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,451百万円増加いたしました。円安の影響により為替換算調整勘定が4,482百万円増加し、タカラバイオグループの好業績により非支配株主持分が2,917百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%（前連結会計年度末は51.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、直近の状況を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

通期の売上高につきましては、期初予想に対して、宝酒造が若干の減収となるものの、宝酒造インターナショナルグループとタカラバイオグループが増収となり、グループ全体では増収となる見通しです。

利益面では、売上高の増加や売上原価率の低下による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制に努めることで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、期初予想を上回り、過去最高となる見通しです。

業績予想の修正に関する詳細は、本日(2021年8月3日)公表いたしました「連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、「決算短信補足資料」(PAGE 12/27~19/27)をご参照ください。

(第2四半期累計期間連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月13日発表)	百万円 127,000	百万円 10,600	百万円 10,800	百万円 5,400	円 銭 27.31
今回修正予想(B)	140,000	18,100	18,200	7,800	39.45
増減額(B-A)	13,000	7,500	7,400	2,400	—
増減率(%)	10.2	70.8	68.5	44.4	—
ご参考：前期実績 (2021年3月期第2四半期累計)	127,784	5,782	5,940	2,761	13.97

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月13日発表)	百万円 264,000	百万円 22,600	百万円 23,000	百万円 11,900	円 銭 60.19
今回修正予想(B)	275,000	28,600	29,000	13,400	67.78
増減額(B-A)	11,000	6,000	6,000	1,500	—
増減率(%)	4.2	26.5	26.1	12.6	—
ご参考：前期実績 (2021年3月期)	278,443	21,595	21,929	10,574	53.48

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,238	69,382
受取手形及び売掛金	61,954	66,278
有価証券	1,145	977
商品及び製品	41,115	43,685
仕掛品	1,924	2,223
原材料及び貯蔵品	6,084	6,339
その他	5,161	6,417
貸倒引当金	△516	△511
流動資産合計	183,108	194,792
固定資産		
有形固定資産	74,740	78,119
無形固定資産		
のれん	10,142	10,479
その他	5,746	5,892
無形固定資産合計	15,889	16,372
投資その他の資産		
投資有価証券	27,924	27,441
その他	5,324	5,519
貸倒引当金	△69	△64
投資その他の資産合計	33,180	32,896
固定資産合計	123,810	127,388
資産合計	306,918	322,180
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,481	17,555
短期借入金	5,166	5,392
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払酒税	6,890	7,676
未払費用	6,455	4,629
未払法人税等	4,021	3,176
賞与引当金	2,727	3,869
その他の引当金	2,186	984
その他	12,340	22,899
流動負債合計	56,269	76,183
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	15,465	15,251
リース債務	3,122	3,257
退職給付に係る負債	9,274	9,282
長期預り金	5,136	5,092
その他	6,114	5,126
固定負債合計	59,113	48,010
負債合計	115,383	124,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,292	2,336
利益剰余金	135,184	134,514
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	149,020	148,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,370	11,038
繰延ヘッジ損益	193	175
為替換算調整勘定	△2,840	1,641
退職給付に係る調整累計額	△859	△831
その他の包括利益累計額合計	7,863	12,024
非支配株主持分	34,650	37,568
純資産合計	191,535	197,987
負債純資産合計	306,918	322,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	65,378	68,806
売上原価	40,020	40,470
売上総利益	25,358	28,335
販売費及び一般管理費	23,426	15,995
営業利益	1,932	12,339
営業外収益		
受取配当金	267	293
その他	208	275
営業外収益合計	476	568
営業外費用		
支払利息	99	80
シンジケートローン手数料	54	—
その他	68	85
営業外費用合計	222	166
経常利益	2,187	12,742
特別利益		
国庫補助金	—	49
その他	0	1
特別利益合計	0	50
特別損失		
投資有価証券評価損	5	—
製品自主回収関連損失	—	1,576
その他	19	94
特別損失合計	25	1,671
税金等調整前四半期純利益	2,161	11,122
法人税、住民税及び事業税	1,081	3,707
法人税等調整額	△154	△437
法人税等合計	927	3,270
四半期純利益	1,234	7,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	2,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,156	5,349

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,234	7,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	725	△332
繰延ヘッジ損益	38	△17
為替換算調整勘定	△2,006	5,703
退職給付に係る調整額	10	32
その他の包括利益合計	△1,231	5,385
四半期包括利益	3	13,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	9,510
非支配株主に係る四半期包括利益	△310	3,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客に支払われる対価について、従来は販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。また、決算日後に顧客に支払われる対価として見込まれる金額を従来は「流動負債」の「未払費用」の一部および「その他の引当金」の一部として表示しておりましたが、返金負債として「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,375百万円減少し、売上原価は110百万円減少し、販売費及び一般管理費は7,214百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ49百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,867百万円減少しており、当第1四半期連結会計期間末における流動負債の「その他」に含まれる返金負債の金額は5,709百万円であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造 インターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,515	18,536	6,938	62,990	2,388	65,378	0	65,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	79	-	165	4,470	4,635	△4,635	-
計	37,601	18,616	6,938	63,156	6,858	70,014	△4,635	65,378
セグメント利益	731	133	693	1,558	352	1,910	21	1,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去41百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△19百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イン ターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,548	20,994	15,272	65,814	2,991	68,806	—	68,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	245	74	0	320	4,586	4,906	△4,906	—
計	29,794	21,068	15,272	66,134	7,578	73,712	△4,906	68,806
セグメント利益	1,478	1,740	8,504	11,722	624	12,347	△7	12,339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。

2. セグメント利益は、セグメント間取引消去9百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△16百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の宝酒造の売上高は7,370百万円減少し、セグメント利益は49百万円減少し、宝酒造インターナショナルグループの売上高は5百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造イン ターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計		
酒類	29,548	2,931	—	32,479	1,039	33,519
海外日本食材卸	—	18,063	—	18,063	—	18,063
バイオ	—	—	15,272	15,272	—	15,272
その他	—	—	—	—	1,951	1,951
顧客との契約から生じる 収益	29,548	20,994	15,272	65,814	2,991	68,806
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	29,548	20,994	15,272	65,814	2,991	68,806

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワインの輸入販売、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。